

ルールセット - ワイルドカード

第1条：要点と定義

- A. 本規約は、ワールド・シネマティック・コスプレ・サミット（以下、WCCSとする）。
- B. WCCSへの参加は、本規約を承認し、遵守することを条件とする。
- C. 各エントリーのメインコスプレイヤー2名を参加者とする。
- D. WCCS は、参加者がビデオアプリケーションの様々な側面にエントリーし、評価されるビデオコスプレコンテストである。
- E. オリジナル要素が多く、主観的な視点での改編が含まれる場合でも、原作の設定を逸脱したり、軽率な解釈で蔑ろにすることなく、原作を尊重したパフォーマンスであること。
- F. 企画は創造的なインスピレーションに基づくものとし、キャラクターの判断や応募映像には高い制作技術が反映されていること。
- G. 本大会の主管者をWCS事務局とする。
- H. これらのルールは、WCCSの一環としてワイルドカード選抜のために特別に定められたものである。

第2条：テーマ、カテゴリー、参加者

- A. 参加者は、日本文化に由来するアニメ、マンガ、ゲーム、特撮などのキャラクターを表現したコスチュームで出演することができる。
- B. 参加者はデュオでエントリーすること。2人のコスチュームは同じものでなければならない（クロスオーバーは不可）。
- C. 参加者は、年齢や感性に関係なく誰でも参加できるビデオ作品であること。
- D. 素材の正当性について訴訟が生じた場合、WCS事務局が最終決定を下す。

第3条：参加条件

- A. 参加者はコスプレイヤーのペア（2名1組）であること。
- B. コスチューム・アクセサリは、ショップで購入したもの、依頼したものを問いません。
- C. コスチュームやアクセサリの製作を手伝ってもらうことができる。
- D. 参加者は、ビデオ・パフォーマンスの制作において、第三者から援助を受けることができる。この手助けは、カメラの裏側での技術的なサポート、あるいはエキストラとして行われる。第三者がエキストラとして参加する場合、その役割は最小限にとどめなければならない。
- E. 参加者の国籍は、大会開催国と同一でなければならない。他国籍の参加者であっても、「滞在許可証」（またはその国の法律により同等の書類）を所持している場合は、居住している国からセクションに参加することができる。ただし、同じシーズンに国籍国のセクションに参加することはできない。
- F. 参加者は2人とも同じ国の出身であり、同じ国のワイルドカード選考に参加しなければならない。
- G. 自国のWCCS選考会を開催していない国の参加者のみが、WCCSワイルドカード選考会に参加できる。
- H. 参加者は、エントリーが完了し有効とみなされるために、WCCS申請料を支払わなければならない。

第4条：パフォーマンスと強制要素

- A. 参加者は、WCS事務局が要求するすべての情報をフォームに記入しなければならない。これに従わない場合、エントリーは無効となる。
- B. 参加者が作成するビデオパフォーマンスの最長時間は2分30秒である。
- C. 参加者は、あらすじ、セリフ、タイムスタンプを含む台本を提出しなければならない。また、応募ビデオファイルには**必ず英語の字幕を付けること**。その際、「ハードコー

ド」された字幕ではなく、「ソフト字幕」にすること。字幕の位置は画面下部を推奨します。

- D. 参加者は、衣装の参考画像、およびウィッグ、メイクアップ、アクセサリーを含む衣装を着用した写真（立ち姿の正面と背面）を提出すること。
- E. 完成したエントリー・ビデオに加えて、エフェクト、アニメーション、写真など、ビデオ制作に関連するリソースに関するすべての情報を提出すること。
- F. ビデオ制作に使用された音楽、効果音などのファイルは、著作権・ライセンス情報とともに提供すること。
- G. 代表者以外の第三者が映像制作に関わった場合は、そのコスプレイヤー名やニックネーム、または本名も提供すること。
- H. 代表者の選出後、主催者はすべての情報と書類を英語または日本語でWCS事務局に提出しなければならない。これらの情報および書類は、選考後14日以内、またはWCS事務局が定める「ハード」締め切り日のいずれか短い日までを送付すること。
- I. WCS事務局に送付された代表者の情報または書類のいずれかが間違っている、または不足していることが判明した場合、主催者および/または代表者は、要求された情報または書類を修正するために48時間の猶予を与えられる。
- J. 不備のある参加申込書は無効とする。

第5条：審査基準

- A. コスチュームの質と外観（20pt）
衣装の全体的なクオリティと見た目。オリジナルの参考資料と比較して、どれだけよく、正確に再現されているか、また、フィルム上でどれだけよく見えるか。素材、生地、アクセサリー、ウィッグ、メイク、その他細部の品質と見た目が採点に影響します。
- B. キャラクターの体現度（20pt）
コスプレイヤーがコスプレしているキャラクターをどれだけ体現しているか。これはコスチュームや身体的特徴とは関係なく、コスプレイヤーの全体的な態度や、性格、習慣、ギミックにおけるキャラクターの解釈となります。
- C. 演技（50pt）
この基準は、ビデオパフォーマンス中のコスプレイヤーの演技をカバーします。どれだけ説得力があり、表現力があり、演技を通して感情をうまく伝えているか。ストーリーテリングに引き込まれれば引き込まれるほど高得点となります。
- D. 映像演出（20pt）
この基準では、コスプレ動画の全体的なストーリーテリングと視覚的な創造性を評価します。カメラワーク、構図、クリエイティブな演出を通して、いかに効果的にコスプレパフォーマンスの物語を伝えているかを評価します。ショットのフレーミング、アングルのダイナミックな使い方、全体的なインパクトに貢献するビジュアル要素などを考慮してください。強力なビデオ演出は、視聴者をシームレスにストーリーへと導き、キャラクターの個性やパフォーマンスの本質を強調するものでなければなりません。
- E. ビデオ編集（20pt）
この基準では、編集プロセスにおける技術的な熟練度と創造性を評価します。審査員は、映像のシンクロ、トランジションの適用、エフェクトの使用など、コスプレ映像全体のビジュアルアピールを高めるための工夫を考慮します。効果的な編集は、ストーリーとパフォーマンスの長所を強調し、シームレスで魅力的な視聴体験に貢献するはずで
- F. 照明／写真（20pt）
この基準では、コスプレを紹介するための光と写真のテクニックを評価します。審査員は、ライティングの質と創造性、そして構図を考慮します。よく照明され、巧みに撮影された映像は、コスチュームのディテールをより際立たせ、あなたのパフォーマンスと意図されたすべての感情を最大限に引き出します。
- G. サウンド&ミュージック（20pt）
この基準は、ビデオ・パフォーマンスのオーディオ要素に焦点を当てます。審査員は、効果音、音楽、全体的な音質をいかにうまく活用し、パフォーマンスを補完しているかを評価します。
- H. 脚本／シナリオ（20pt）
この基準では、コスプレ動画のストーリー構成とストーリー性を評価します。審査員は、脚本（可能な台詞を含む）の効果や、一貫したストーリーやテーマにどれだけ沿っ

ているかを考慮します。魅力的な脚本と脚本は、より魅力的で印象的なコスプレプレゼンテーションに貢献し、視聴者があなたが演じているキャラクターとつながることを可能にします。

I. Xファクター (10pt)

魅力的でエンターテインメント性の高い、想像力豊かで独創的なアイデアがどれだけ盛り込まれているか、視聴者をストーリーに没入させることができているかなど、点数基準では測りきれない要素について、審査員それぞれの視点で追加評価。

第6条 審査方法

- A. 各審査員は、代表コスプレイヤーのビデオパフォーマンスを「審査基準」に従って評価する。審査時間は2分30秒以内とする。各審査員の採点が終了した時点で、各審査員の採点を合計・平均し、最終順位を決定する。
- B. 審査は、代表者が評価の対象として要求したキャラクターの提示されたすべての要素を評価して行われる。コスチューム（パフォーマンス中にコスチュームチェンジがある場合は、代表者1名につき1着以上）、メイクアップ、ウィッグ、ハンドプロップはすべて審査対象とするが、平均点は評価対象要素の点数のみで決定する。キャラクターを表現するために不可欠と判断される要素は、すべて衣装の一部とみなし、審査の対象とすることができる。コスプレイヤーが着用せず、アクションシーンに配置されるもの（演技の補助となるもの）はコスチューム審査の対象とはなりません。
- C. 映像の完成度が最も重要な審査要素であるため、審査員は事前に審査を行い、必要に応じて細部を確認することができるようにし、また、必要に応じて何度も作品を見て点数を決定することができるようにする。
- D. 総合得点による最終順位は、200点満点で決定される（審査基準の段落のA.からI.までの基準の合計）。なお、各国・各地域の予選においても、この方式を参考にすることが推奨される。
- E. 審査委員の得点から平均点を算出する。
- F. 最終得点が同点となった場合、ビデオ審査の審査員の判断により順位が決定される。

第7条：コンテストの賞品

- A. すべての賞品は、主要参加者2名を対象とする。ビデオ制作に関与した第三者は、本イベントに設定された賞品を受け取ることはできない。
- B. ワイルドカード・セレクション
 - a. WCS事務局は、エントリーされたワイルドカード・プールの中から上位5チームまでの参加者をファイナルに選出する。（最終的に選出されるチーム数は変更される可能性があり、WCS事務局が応募総数に基づいて決定する）
 - b. こうすることで、自国と地域の代表が確保される。
 - c. 選出された参加者のエントリーは、WCCSの選手権フェーズに使用される。
 - d. 選出された参加者には、WCS Alumniの資格が与えられる。
- C. 選手権段階
 - a. 各国から選出された参加者全員が、グランド・チャンピオンの座をかけて競い合う。
 - b. タイトルを獲得した参加者は、その年の8月初旬に日本で開催されるWCSに招待される。
 - c. WCS事務局は、WCS2024の活動期間中、グランド・チャンピオンの航空券および宿泊費を負担する。（スケジュールと日程は後日決定）。
- D. WCS事務局は、事前の通知なく賞品を追加することができる。

第8条：陪審

- A. 審査は、WCS事務局が選出した審査委員によって行われる。
- B. 審査委員は、コスプレから映像制作まで、様々な経歴の方が参加できます。
- C. WCS事務局は、審査員に関する情報を提供する。
- D. 審査委員は、第5条および第6条で詳述された基準および方法に従って、完成し検証された各映像作品に得点を与える。

第9条：制限と安全性

- A. パフォーマンス情報と条件
- 競技者の安全を確保するため、店頭で購入した模造刀、刀、またはそれに類する金属の刃を加工したもの、鈍器、銃器などの危険な武器の使用は禁止する。
 - また、実際に火を使用する演技や、取扱いに特に注意を要する危険物を使用する演技も禁止する。
- B. aからfのようなストーリーミング・プラットフォームのガイドラインに違反するコンテンツは禁止されます。なお、以下は各プラットフォームのガイドラインの一部を抜粋したものであり、詳細は各プラットフォームの全文を参照すること。(例) YouTube：
https://www.youtube.com/intl/en_us/howyoutubeworks/policies/community-guidelines/
- WCSの公式イラストや公式ロゴ、映像に編集された画像、アニメーション、著作権で保護された特殊効果、著作権で保護された効果音、著作権で保護された音楽を他のオリジナル作品から使用すること、または他人の著作権を侵害すること。
 - 過度な性的表現やナレーション
 - 血や嘔吐物の過度な描写、暴行、拷問など、嫌悪感を抱かせる暴力表現。
 - ヘイトスピーチ、自殺、いじめを誘発する内容。
 - 政治的なメッセージやプロパガンダ
 - 重大な傷害を引き起こす、またはその可能性を助長するようなビデオチャレンジ。
- C. BGMおよびビデオの使用に関するルールは以下の通り：
- 映像に使用する音楽は、JASRACが権利管理する音楽であれば代表者が演奏または作成したもの、著作権フリーの音楽やサウンドクリップでなければならない。主催者は、代表者の映像に著作権侵害となる音源が使用されていないことを確認すること。
 - 参加者の母国語を使用することは認めますが、聞き取れない日本語の吹き替えは認めません。
 - 著作権のあるBGMや声優の声を原作に使用すること、原作に登場するシーンや映像をコピー、トレースして映像に使用すること、著作権者が代表チーム以外であるソースは認めない。また、基本的な映像編集は代表者が行うものとしませんが、代表者以外の者がCGや映像効果を加えることは、クレジットの明記があれば認められます。*基本的な映像編集とは、映像の完成尺が2分30秒を超えないように編集すること。
 - チームの所有物でない公共の場所や私的な場所での無断撮影、およびゲリラ的な無許可撮影は禁止する。
 - チームメンバー以外がエキストラとして参加すること、およびアニメーションやCGなどの手法でキャラクターを作成することは認めるが、代表者2名がメインキャラクターとして出演することを明示すること。また、キャラクターを制作する場合は、c.のとおり、オリジナルのデザインをコピー、トレースしたものであってはならない。
 - サポートキャラクターとして使用されるエキストラは、ビデオパフォーマンスで20秒以上登場することはできません。同じエキストラが同じ制限に従って追加キャラクターで参加することは可能です。
 - サウンド：フルステレオ 192kbps 以上 映像 画像：1920×1080 ピクセル、画面解像度 1080p、アスペクト比 16:9 背景映像を使用する場合は、サウンドクリップとミックスした動画ファイルとして、以下のいずれかのファイル形式で提出すること：MOV、MP4、AVI、WMVのいずれか。
 - 選出された代表者のみ、パフォーマンス中に話されたセリフには、日本語と英語の字幕がディスプレイの下部4番目に表示されます。字幕の手配はWCS事務局が行いますので、事前に映像に字幕を入れる必要はありません。字幕は、絵コンテに日本語または英語で記載されたセリフのタイミングに合わせて表示されます。
WCS事務局では映像に字幕を付けません。台詞が母国語の場合は、英語字幕を付けて提出してください。
- D. 参加者は、提出されたビデオの内容が規定に違反していないことを確認する。WCS事務局は、応募映像の内容が危険または倫理的に問題があると判断した場合、応募映像の編集を求めることができる。その場合、ビデオ編集のために48時間から72時間の期間が与えられます。

- a) 本規定にない特殊な表現方法を予定している場合は、事前にWCS事務局に相談し、予定している表現方法に関する資料を送付し、その内容を台本に記載すること。
- b) 撮影場所の安全や環境に配慮し、国や地域の規則に従って撮影を行うこと。

第10条：失格と罰則

- A. 制限時間の2分30秒を超えた作品については、5秒ごとにビデオ審査で10%の減点が適用され、2分46秒を超えた場合は0点となる。
- B. 提出期限を過ぎて書類が届いた場合、提出が24時間遅れるごとに10%減点し、120時間を超えた場合は無審査で0点とする。(24時間を超える遅延：10%、48時間を超える遅延：20%など)。
- C. また、瑕疵があると判断された書類について、WCS事務局が訂正を求めた場合、その連絡から24時間以内に、WCS事務局から指摘された瑕疵に対応した訂正版を再送すること。この場合も、24時間遅延するごとに、コスチューム審査において10%の減点が適用され、遅延が72時間を超えた場合は、無審査で0点が与えられる。
- D. 提出期限と再提出の両方に遅延があった場合、ペナルティは累積して適用される(提出期限から24時間を超える遅延：10%+再提出の24時間を超える遅延：10%、合計でコスチューム審査における減点の20%)。
- E. 期限超過による減点は、WCS事務局が適用する。
- F. 代表者が複数のキャラクターに扮することは認めますが、エキストラなどによるキャラクターの場合は、審査基準A、B、Cの採点対象から除外します。両代表コスプレイヤーが連続して15秒以上フレームから外れることは認めません。
この制限時間を超えた場合、ビデオ審査は以下のように減点されます：
 - 15.1秒～16秒 5点減点
 - 16.1秒～17秒 5点減点
 - 以降、超過1秒ごとに5点減点
 - 20秒以上の超過タイムについては、ビデオ審査において無条件で0点が適用される。
- G. サポートキャラクターを20秒以上フィーチャーした場合、以下のペナルティが適用される：
 - 0.1秒～1秒 5点減点
 - 1.1秒～2秒 減点5
 - 以降、超過1秒ごとに5点減点
 - 5秒以上超過した場合、ビデオ審査では無条件で0点が適用される。
- H. オリジナルのコスチュームの細部が変更された場合(例：補強目的やエフェクトのためにパーツが追加された場合など)、オリジナル作品に敬意を払うこと。カスタマイズは許容されるが、ファンによる創作、例えば性別を曲げたもの、ジーンジーンしたもの、パフォーマンスのキャラクターをマッシュアップしたものなどは認められない。この条件に従わない場合、エントリーは無効とみなされ、審査対象外となります。
- I. 代表者のコスチュームについて判断が難しい問題が生じた場合は、WCS事務局で審議・判断する。

第11条：映像財産

- A. 参加者は、本規則に同意することにより、本コンテストに提供された、または本コンテスト開催中に撮影されたすべての写真または映像が、本コンテストの通信手段またはプロモーションに使用されることを、金銭的な対価を支払うことなく許可するものとし、ます。
- B. WCCS選手権大会終了後、参加者から提供されたビデオおよび写真はWCS事務局の所有物となり、プロモーション資料として様々な用途に使用される可能性がある。また、DVD、ウェブサイト、フォトブック、その他の素材を制作する場合、金銭的な補償は一切ありません。
- C. 主催者およびWCS事務局は、写真が倫理および法律を遵守していることを約束します。個人を貶めるような写真、ポルノ、暴力は厳禁である。
- D. この許可は3年間有効です。WCS事務局は、参加者の同意を得て、この期間の延長を求められることができる。